



一般財団法人 とうほう地域総合研究所

主な活動場所：福島県内全域

主な取組①

機関誌「福島の進路」による情報発信・情報共有



当研究所の機関誌「福島の進路」において、SDGsに関連する様々な記事を掲載し、読者の皆さまに役立つ情報や企業・団体の先進事例などを発信しています（冊子版・デジタル版いずれも無料）。

- ①生産性新聞との共同取材企画「地域発！現場検証シリーズ」において県内企業・自治体・団体等の取材記事を全国に発信しています。
- ②SDGsなどに取り組む企業・団体等の取材記事を通じて先進事例等を紹介しています。
- ③主要省庁（経済産業省・環境省・復興庁・農林水産省など）や有識者（大学教授・弁護士・税理士など）の寄稿記事を掲載しています。
- ④景気動向調査、人口推計、雇用動向、時事的なテーマでの自主研究レポートを公開しました。



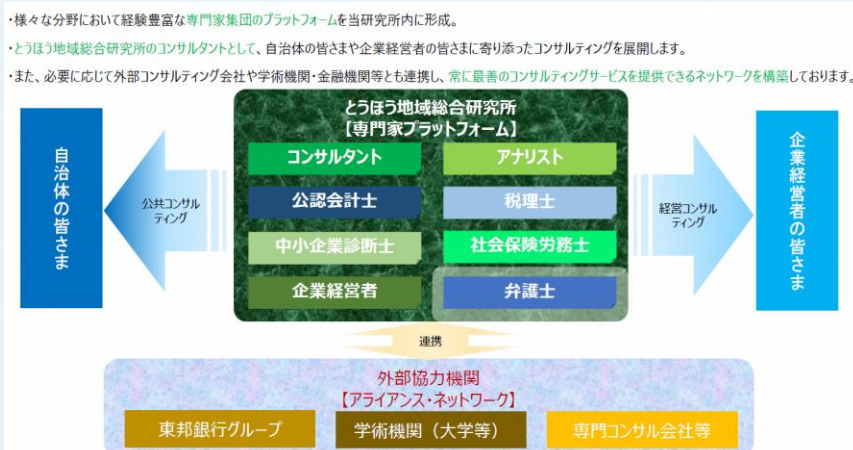
主な取組②

専門家プラットフォームの形成



2022年9月、当研究所所属のアナリストに加え、これまでに企業経営や上場支援・事業再生等に関する豊富な知識と経験を有するコンサルタントや、地元を中心に活動する公認会計士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士、さらには弁護士や企業経営者等が参画し、より専門的かつ高度なコンサルティング事業を展開する「専門家プラットフォーム」を形成しました。2023年、公認会計士や中小企業診断士の有資格者を採用しました。

東邦銀行グループをはじめとした外部協力機関とも連携しながら、より専門的な知見に基づいた高度な経営課題の解決を支援するとともに、自治体や経営者の皆さまの立場に立った地域完結型のコンサルティング体制を構築します。



会員と連携可能な強み

機関誌「福島の進路」の出版事業を通じて、県内の地方公共団体、企業・団体、大学・短大などの産官学連携を重ねてきた実績があり、各種専門家との連携も生かしてSDGsの達成に取り組めます。

会員と連携して取り組みたい課題

機関誌の情報発信力を活かし、先進的な事例の紹介などを通じて、全県的なSDGs推進にかかる意識醸成、具体的な取り組みにかかる気づきや課題の共有などに貢献できるよう取り組みます。

〒960-8041 福島県福島市大町4-4

【HP】<https://www.tohorc.or.jp>

【TEL】024-523-3171【MAIL】sinro-tari@tohobank.co.jp（担当：嵐）

